

令和3年度 揖斐川町立(小島小)学校 学校評価に係る「重点目標」「評価項目」「評価指標」

(様式1)

	重点目標	評価項目	関連項目	評価指標	
学校経営	「私たちの学校は、いい学校だよ。」と誇れる学校にするために、全職員が「和」を大切に、力と心を合わせて教育活動を行うと共に、家庭や地域との連携を大切に学校経営を目指す。	1 共通	学校は、危機管理体制を整え、児童生徒一人一人の命を守りきる安心・安全な学校づくりに努めている。	9 10	コロナ感染防止、いじめ未然防止対策、自然災害対応、不審者対応等についてのマニュアルを活用し、計画的に研修や「命を守る訓練」等を実施することを通して、マニュアルを見直したり、児童生徒及び職員が危機を予知して未然に防止したりするなど、適切に対応している。
		2	児童がふるさとや学校への誇りと愛着をもつことができるように、家庭や地域社会と学校が連携した活動を仕組んだり、教育課程を編成したりしている。	6 14 40	感染症対策を講じながら、家庭や地域との積極的な交流や情報の共有、地域人材の有効活用などを通して、ふるさと小島に誇りと愛着をもつことができる児童が育っている。
学習指導	学習活動へのICT活用を積極的に推進するとともに、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を図り、意見交流や学び合いを通して考えを広げ深める指導の実践に努める。	1 共通	学校は、主体的・対話的で深い学びの視点から絶えず指導改善に努めるとともに、ICTを活用した学習活動を推進している。	16 18 40	感染症対策を講じながらも、効果的なICT活用等により、学びを止めることなく、深い学びとなるよう具体的な指導改善を図り、確かな学力の定着と学習意欲を高めている。
		2	児童一人一人が自分の考えを確かにもち、仲間に伝えたり交流したり、それらを通して自己の考えを深めたりすることができる授業づくりに努めている。	16 17	教師が主体的・対話的で深い学びの視点から授業改善を図るとともに、互いの見方や考え方から学び合うことを通して、自己の考えを広げ深めることができる児童が育っている。
生徒指導	自他を尊重する豊かな心、特に相手を思いやる優しい心(思いやりの心)を育むとともに、所属感や自己肯定感を育む学級経営に努める。	1 共通	学校は、「学校いじめ防止対策基本方針」に基づき、いじめの未然防止、早期対応に努め、児童生徒の望ましい人間関係を築く力を育てている。	11 28 29	児童生徒が互いに思いやりのある言動をすることができる指導を積み重ねるなど、いじめの未然防止に積極的に努めるとともに、いじめを発見した場合は迅速に組織で対応し、関係児童生徒及び保護者の不安や悩みが解消されている。
		2	活動を意味付けたり変容を価値付けたりして、一人一人が所属感や自己肯定感を味わい、望ましい人間関係を築くことができる学級経営や特別活動の充実を図っている。	25 26 28 31	一人一人の児童が自分の役割を自覚して主体的に取り組むとともに、活動の意味や成果、適正な評価を実感することを通して、児童は所属感や自己肯定感を高めることができている。
家庭・地域との連携	家庭と地域社会との連携を大切にして教育活動を推進するとともに、ふるさとを大切に、ふるさとを愛する心を育む。	1 共通	学校は、「早寝・早起き・朝ご飯運動」を推進したり、児童生徒が町や地域の活動に主体的に参加する態度を育てている。	14 39	児童生徒が自分の食事や睡眠への意識を高め、生活習慣を確立させるとともに、地域の行事等に主体的に参加、貢献して地域の輪を広げている。
		2	花づくりや地域行事への参加を通して、地域の方々との絆を深め、ふるさとへの愛着を持つことができるように努めている。	6 31 37 38	学校が家庭や地域との交流に配慮した花(苗)づくりを推進するとともに、児童は、進んで誰にでもあいさつをしたり積極的に地域行事への参加したりしようとする意識や態度を高めている。